

議会だより

まんのう

2013

平成25年11月1日発行

No.9



力をあわせて —琴南地区運動会—

2P **さらに発覚** 新体育館のその後

4P **24年度決算認定できず**

6P **議案採決結果**

8P **2億円の増額補正** 9月定例会・臨時議会

13P **9人が町の考えを問う** 一般質問

18P **いっぺん来てつか** 議会報告会の案内

先進地に学ぶ 研修報告

20P 議会からこんにちは
育児サークルだけのこ

さらに発覚

破壊検査で新たな事実

壁の無断変更が発覚
(議会だより第8号参照)

したその後、「NHKのど自慢」が9月に開催されることから、手直し工事を行うことになった。

当初、手直し工事は壊れた壁の上から補強する予定だったが、議会から壁下地の施工は大丈夫なのかという指摘をした。

手直しに当たり、第三者の設計士に入ってもらったが、その設計士も壁の下地は十分に精査しなければならぬという事で、施工者に対し、工事関係書類の提出を求めた。

しかし、施工者側か



やり直し時のステージ部分の壁

ら十分な書類が提出されなかったことから破壊検査を行うこととなった。

議員立会いのもと、破壊検査をした結果、下

地は議員が引つ張るとコンクリートから離れるほどの強度がなく、他にも図面と違う点が多々存在していた。

(下記参照↓)



手直した下地 (写真②)



錆びたセパ穴の鉄筋 (写真①)

※PFI事業とは
民間の専門的な知識、技術を使い、長期契約をする事で、従来よりもより良いものができるとされる手法。

破壊検査で分かった事

・型枠を固定する鉄筋の防錆ができていない。(写真①)

・壁下地が軽量鉄骨に止まっている釘の数に留めている釘の数も少ない。(写真②)

・ステージ壁の軽量鉄骨の本数が、図面の3分の2しかない。

・図面より性能の劣る耐火ボードが使用されていた。

・ステージの壁を主鉄骨に固定する部分が少ない。

壁を壊して

PFI事件特別委員会

この事態を受け、議会としては、新しく「PFI事件特別委員会」を設置することになった。

そして、第1回目には、参考人として、工事施工監理者である「山下

設計」、第2回目には、

契約の相手方である「まんでがんパートナーズ」の総括マネージメント業務担当者の正副マネージャーを招致し、事実関係の確認をおこなった。

(両者の関係は、下図の



議員立会いのもと行われた壁の破壊検査

事業形態を参照)

山下設計、まんでがんパートナーズの話によると、どちらも壁が9mmシナ合板から6mmケイカル板に変更されたのを知ったのは、壁が破損した4月10日以降だということであった。

山下設計は、工事施工監理者であり、総括マネージメント業務は、町

今後、議会として

今後、専門家による第三者委員会を作り、現在の建物が町の要求どりに建設され、町民が安心して利用できるのかを調査していく。

の要求に従って仕事を進めるための役割を担っていただけに、壁の変更を知らなかったというのを聞いて、議会としては驚くばかりだ。



特別委員会の会議の様子

そして、調査の結果を受けて、手直しや損害賠償、今後の維持管理の契約をどうして行くのかを検討していく。
※一般質問でも議員から関連質問が出ています。(P13)

事業形態

まんのう町

契約

「まんでがん
パートナーズ」
(特別目的会社)
代表企業・大成建設

契約

設計：大成建設・シーラカンス設計

監理：山下設計・シーラカンス設計

建設：大成建設

維持管理：大成有楽・ミズノ 等

認定できず

一般会計 115億3,700万を 不認定

特別会計 53億5,400万円は認定

PFI事業の支出に問題

PFI事業の予算 執行に問題あり

平成24年度一般会計の決算を議会で審査し、その結果、不認定となりました。

不認定になった理由が討論されましたので、その報告をいたします。

討 論

【賛成】 関議員



決算を不認定にすることは、町長に不信任を突きつけることに値する大きな問題である。したがって、全体をみて賛成とします。

【反対】 本屋敷議員



決算は、決まりとして一部でも認定できなければ全てにおいて不認定となる。

PFI事業の支払いをした5月の時点において、仕事の精査ができておらず、今後減額が生じた場合には、払い戻しを請求できるというが、町長は口約束しかしていない。

また、それより後に、体育館の内壁等の問題の調査で、町の要求を満たしていないという発言も出てきている。

よって、今後の事も考えれば、認定はできない。

(採決結果 P6参照)

決算全体としては

検討課題が多い

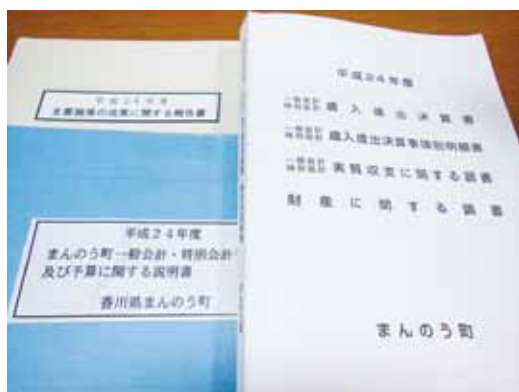
前年度に比べ、歳入23億7,196万円、歳出27億4,445万円的大幅増となっている。

主な要因はPFI事業による国からの補助金および地方債(町の借金)の増額によるものである。

町税収入は減少傾向にあり、自主財源の比率も下がっている。

◆自主財源 31.3%(H23)⇒26.7%(H24)

また、不納欠損額(※1)は917万円(前年度比214万円増)、収入未済額(※2)は1億8,772万円(前年度比582万円増)となっており、今後の課題である。

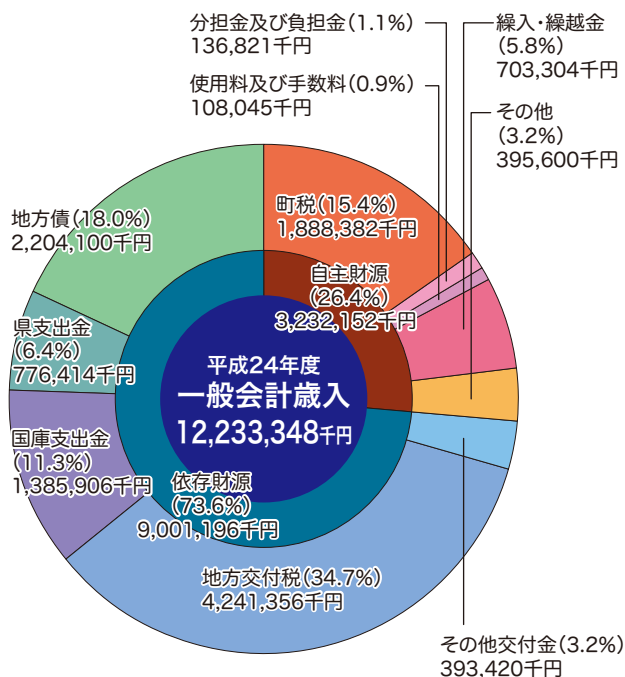


24年度の決算資料

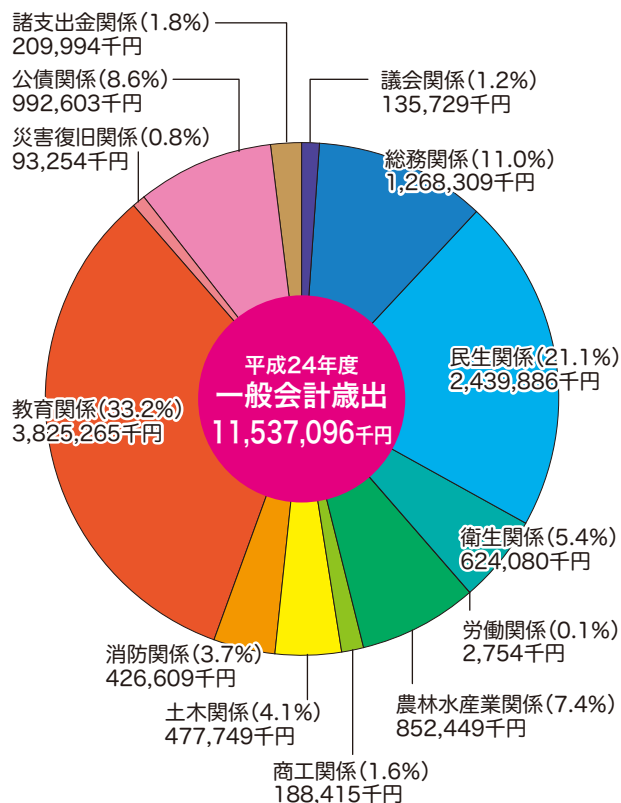
- ※1 不納欠損額: 予定した収入が滞り、時効成立などで徴収できなくなった金額。
- ※2 収入未済額: 予定した収入のうち、出納閉鎖日(5月31日)までに入金されなかった金額。

24年度決算

平成24年度
一般会計歳入予算の内訳



平成24年度
一般会計歳出予算の内訳



国保会計は改善傾向

この事は県下でもめずらしく、町民の皆さんに医療費の増額が保険料の増額につながっていることを理解していただいた結果だと思います。

このままいけば、保険料の増額をしないでもいけそうです。

これからも、医療費の適正化のためにご尽力をお願いします。

関連質疑(P9)

わが町の財政状況(平成24年度末)

(単位: %)

	H22	H23	H24	説明
財政力指数	40	39	38	町が自前で調達できるお金の割合
経常収支比率	73.7	76.4	78.2	人件費などで絶対に必要なお金の割合
実質公債費比率	9.9	9.1	8.6	総収入に対する借金返済の割合
将来負担比率	40.9	0.7	19.0	町が関係する総借金を標準財政規模(※)で割ったもの

(※)標準財政規模 自治体の財政規模を示す金額 (まんのう町23年度で約66億円)

議案採決結果

議案名等				議員名	議席番号			16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	関連ページ
					賛成	反対	議決結果	大岡克三	川西米希子	田岡秀俊	合田正夫	白川正樹	本屋敷崇	関洋三	白川年男	白川皆男	大西樹	藤田昌大	三好勝利	大西豊	川原茂行	高木堅	
平成25年(第2回)臨時会(7月24日)																							
議案第1号	工事請負契約の締結(平成24年度 学校施設環境改善交付金事業仲南小学校プール改築工事)	11	2	可		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	P12
議案第2号	まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によること	13	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第3号	まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結	13	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
平成25年(第3回)臨時会(8月20日)																							
発委第1号	PFI事件対策特別委員会設置決議(案)	10	3	可		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	P12
平成25年(第3回)9月定例会(9月5日～20日)																							
認定第1号	平成24年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定	1	13	不		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	P4,5	
認定第2号	平成24年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第3号	平成24年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第4号	平成24年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第5号	平成24年度まんのう町診療所特別会計歳入歳出決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第6号	平成24年度まんのう町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第7号	平成24年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第8号	平成24年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第9号	平成24年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
認定第10号	平成24年度まんのう町水道事業会計決算認定	14	0	認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4,5
議案第1号	まんのう町子ども・子育て会議条例の制定	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P9
議案第2号	まんのう町大川山交流施設「まんのう天文台」条例の制定	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	まんのう町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	まんのう町税外収入金の督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部改正	13	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第5号	まんのう町長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部改正	13	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第6号	まんのう町税条例の一部改正	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		議席番号			16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				

議案名等	議員名			議席番号	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	関連ページ
	賛成	反対	議決結果	大岡 克三	川西 米希子	田岡 秀俊	合田 正夫	白川 正樹	本屋敷 崇	関 洋三	白川 年男	白川 皆男	大西 樹	藤田 昌大	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	高木 堅		
議案 第7号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第8号 まんのう町児童館条例の一部改正	13	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案 第9号 まんのう町道路線の変更	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第10号 平成25年度まんのう町一般会計補正予算(案)第2号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8～
議案 第11号 平成25年度まんのう町国民健康保険特別会計補正予算(案)第1号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案 第12号 平成25年度まんのう町簡易水道特別会計補正予算(案) 第1号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案 第13号 平成25年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)第1号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案 第14号 まんのう町職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定	12	2	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	P11
議案 第15号 まんのう町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問 第1号 人権擁護委員候補者の推薦	13	0	同		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
発議 第1号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書(案)	13	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
発議 第2号 道州制導入に断固反対する意見書(案)	8	5	可		×	×	×	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	P12
発議 第3号 まんのう町議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例の制定	6	8	否		○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	P11
閉会中の継続調査	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
				議席番号	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	

※可／可決 否／否決 認／認定 不／不認定 推／推薦 継／継続審査 同／同意 ○／賛成 ×／反対 欠／欠席
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。〈議長 議席番号16番〉

ぜひ傍聴に来てつか

本町議会は、だれでも傍聴できるんで。
 なんちゃめんどい事は無いけんな。
 会議日程は、ホームページ、告知放送でも
 お知らせしとるけん、いっぺん来てつかよ。
 わからん事は議会事務局に聞いてな。



本会議の傍聴席(後方)

☎0877-73-0109

ご案内

次回の定例会は12月に開会予定です。
 皆様のお越しをお待ちしております。

平成25年度9月定例会

約2億円を増額補正

仲南地区の幼保一体化施設に伴う
造成費・旧仲南町民プールの取り壊
し・PFI事業の調査費など

9月定例会は、5日から20日までの会期で開き、平成24年度決算認定、平成25年度9月補正予算や税条例の一部改正、子ども・子育て会議条例・まんのう町天文台条例・(9)職員及び特別職の給与の臨時特例に関する条例制定・(10)発議まんのう町議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例制定・(11)道州制導入に断固反対する意見書など23案件の審査をおこないました。

第2回臨時会

仲南小学校プール新築工事契約など

第2回臨時会を7月24日に行い、仲南小学校プール新築工事契約の締結・個別外部監査契約の締結など3案件の審査をおこないました。
(P 12 参照)

25年度9月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	2億2000万円	102億1900万円
特別会計	6000万円	56億1400万円



新しい駐車場の予定地(旧仲南町民プール)

第3回臨時会

PFI事件対策特別委員会の設置

第3回臨時会を8月20日に行い、PFI事件対策特別委員会の設置についての1案件の審査をおこないました。
(P 12 参照)

25年度9月補正の主な内容

事業名	予算額	参照
〔1〕国民健康保険特別会計繰出金	△約 5,200 万円	P 9
〔2〕子ども・子育て支援事業費	約 470 万円	P 9
〔3〕有害鳥獣駆除事業費	約 460 万円	P 9
〔4〕ため池等改良事業費	約 4,000 万円	P 9
〔5〕町道改良工事事業費	約 1,500 万円	P 10
〔6〕小学校施設整備費	約 3,500 万円	P 10
〔7〕満濃中学校整備・運営事業費	約 2,600 万円	P 10
〔8〕幼稚園施設整備費	約 5,500 万円	P 10

議案質疑の内容

9月定例会

町民の努力で

〔1〕国民健康保険

特別会計繰出金

一般財源から国民健康

（川西委員）

康保険特別会計へ毎年保険税だけではまかないないお金を繰り出しているが、今年は町民の努力により減額することができた。



神野地区の住民と小学生の交流の様子

国保会計が改善された要因を、どのように考え、今後はどのように維持していくつもりか。

（福祉保険課長）

ここ数年、各自治会や団体で啓蒙啓発を続けて来た結果ができたように思う。

今後とも啓発啓蒙を続け、さらにレセプト（※）の再点検で医療費の適正化につとめる。

※レセプト（各医療機関から出てくる請求書）

地域で子育て

〔2〕子ども・子育て支援事業費

国の方針として、子ども・子育てに力を入れるため、各自治体で子ども・子育て会議を立ち上げ、計画をつくるようになった。

（三好・川西委員）

会議構成の男女比率や権限はどのようになるのか。

（健康増進課長）

メンバーの構成は女性を中心とする予定。

権限としては、子ども・子育て支援事業計画を策定する上で意見調整するための会議。

農作物を守れ

〔3〕有害鳥獣駆除事業費

農作物を守るためのメッシュ柵や電気柵を設置するための補助金、および有害鳥獣捕獲駆除への補助金。

（川原・合田委員）

メッシュ柵等の材料費、捕獲についても補助があるが、その補助金が無くなった為の増額補正なのか。

（産業経済課長）

メッシュ柵等の材料費



椿谷地区に設置されているメッシュ柵

が、8月の時点において昨年度の補助数に達しているために今回補正した。

（南池）の改修工事費。

（白川年男委員）

町全体として多くの池があるが、防災上も含め今後どのように改修していくのか。

（建設土地改良課長）

町内のため池は計画的に改修している。

ため池の安全を

〔4〕ため池等改良事業費

ため池（笛の木池・



改修予定の笛の木池

急げ、道路改修

〔5〕町道改良工事

事業費

今回上がっている2つは、堤防幅が薄く、また漏水を起こしている状態である。

大雨時に危険な状況であるので今回改修する。

町道（買田まんのう線・杉の上中村線）の改修工事費。

（合田委員）

町の方針として、随時道路を改修しているが、どのような優先順位で改修しているのか。

（建設土地改良課長）

杉の上・中村線は、

満濃中学校の改築にあわせた道路改修である。

買田まんのう線は、交通量のわりに狭い場所があり、通行上の安全を確保するためである。

学びの環境を

〔6〕小学校施設

整備費

児童数増加による高篠小学校増築、仲南小学校プール解体撤去費用。

（三好委員）

増築するというが、それは新たに校舎等而建て増しするのか、それとも改修なのか。

（教育課長）

現在、生徒数の増加に伴い現在の教室数では対応できない。

増築というのは、用地確保および建て増しである。

納得できる調査を

〔7〕満濃中学校整備・

運営事業費

新築体育館の壁破損にともない、体育館以外も第三者機関による調査をおこなうための費用。

（高木委員）

調査費用について、全員協議会の中では、まんでがんパートナーズが支払うということになっているがそのように計上しているのか。

（教育課長）

こちらもそのつもりであり、町がまず第三者機関に支払い、その必要経費をまんでがんパートナーズに請求する。

統合に向けて

〔8〕幼稚園施設整備費

新設予定である仲南

地区幼保一体化施設の造成工事費。

（本屋敷委員）

本来、仲南支所周辺の総合計画を立てた後に幼保一体化施設の建設地を決めるべきではないか。

（教育課長）

確かに本来であればそうするべきだが、合併時からの要望であったことから、先に幼保一体化施設の建設地を決めた。



児童数の増加が著しい高篠小学校

国の要請で

〔9〕職員及び特別職の給与の臨時特例に関する条例制定

復興財源の確保のため、給与減額をした国家公務員にならない、地方公務員の給与削減を求めたもの。（26年3月までの特例）

（本屋敷議員）

職員のやる気の低下があつてはいけない。

職員組合とは十分な話し合いをされたのか。

（総務課長）

話し合いをした結果である。

（田岡議員）

交付税約4千万円削減されたうち、今回の職員等給与削減分で約1千5百万円手当て出来るが、残り約2千5百万円分はどうするのか。（総務課長）

国の要請を全て呑んだわけではない。残りは事業の精査を十分にやり、無駄を省いていく。

（三好議員）

国のやりかたはおかしい。きちんと言うべき事は言うべきではないのか。

（町長）

苦渋の選択である事は確かだ。今後は毅然とした態度で取り組む。

討論

【反対】藤田議員



地方交付税の一方的な削減は、地方自治制度の根幹を揺るがす問題であり、反対である。

【賛成】関議員



年功により削減率に差をつけ配慮しているし、町長は自ら10%を課している。反対する理由がない。

議会は どうする

〔10〕議員発議 まんのう町議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例制定



統合予定の仲南保育所の運動会



提案者 田岡秀俊議員
賛成者 合田正夫議員
白川正樹議員

執行部の給与削減だけでなく、この際、議員も自ら報酬カットし、共に痛みを分かち合うべきである。

討論

【反対】藤田議員



さきほどの職員給与削減自体が問題であり、これも地方自治を否定するもので反対である。

【賛成】合田議員



町長はじめ職員給与

は削減するのに、議員はそのままといいわけにはいかない。賛成である。

【反対】本屋敷議員



職業議員としては、今後若い議員がどんどん出て欲しいと思っている。議員報酬が下がることはそれを困難とすると考えるので反対である。

【賛成】白川正樹議員



町民の目線で考え、職員を下げる、自らを下げないというのは住民に説明できないので賛成である。

道州制に断固反対

【1】道州制導入に断固反対する意見書

現在の国の流れとして、強引な道州制への動きが見られるため、議会として国に対し断固反対する意見書を提出するのだろうか。

討論

【反対】川西議員



道州制は、国と地方の役割分担を明確にすることで、地域の効率的効果的な行政改革が可能となる。

国会議員等の大幅削減や二重行政の解消、また、地域の個性や独自色につながると考えるので反対である。

【賛成】川原議員



具体的な話が地方に無いまま、導入が国において一方的に議論されることはおかしいので賛成である。

【反対】田岡議員



「道州制導入は慎重に考えるべき」であるならば賛成できるが、「断固反対する」という文言では賛成できない。

【賛成】高木議員



「断固反対する」という表現は、地方の現状を表しているものであると考える。国としてはもっと地方の意見を聞くべきであると考えられるので賛成である。

第2回臨時会

工事請負契約

仲南小学校の新築プールを約1億2000万円で㈱合田工務店と請負契約を結ぶのか。

討論

【反対】本屋敷議員



議会やPTAの意見が反映されてなく、地元業者育成の考えもない。さらには、1回目で99.4%と言う落札率も納得がいかない。

【賛成】白川年男議員



委員会でも十分に審議され、今回のプールの設計が今までの他校の事業をふまえ精査している。金額も妥当であると考ええる。

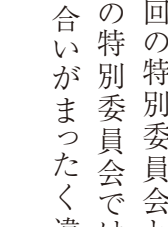
討論

【反対】合田議員

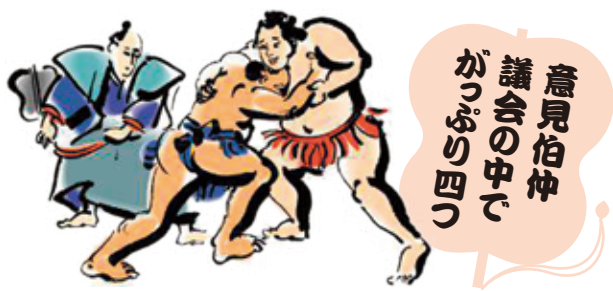


5月に満濃中学校改築調査特別委員会を廃止しているにもかかわらず、新たに特別委員会を設置しようとする経緯と、全員でなく13人での設置に納得がいかない。

【賛成】本屋敷議員



前回の特別委員会と今回の特別委員会では意味合いがまったく違う。人数は、全員協議会等を経て決まったことであるので異議はない。



議員が町の考えを問う

田岡 秀俊 議員

ゼロ・ウェイスト活動の推進を

大西 豊 議員

大成グループとの契約を見直すべきではないのか他

川西米希子 議員

「ピロリ菌リスク検査」の導入を

三好 勝利 議員

仲南地区の幼保一体化総合保育園の進捗状況は他

川原 茂行 議員

若者に魅力ある農業に向けて

本屋敷 崇 議員

PFI事件において、町長の姿勢はおかしくないのか

関 洋三 議員

やり直し工事の生徒への対応他

白川 年男 議員

PFI事業の今後の対応は他

白川 正樹 議員

仲南支所周辺の有効活用を

・環境問題

問 ゼロ・ウェイスト活動の推進を

ウェイストとは「ごみ」「廃棄物」という意味。

地球温暖化防止策のひとつとして全国で、ゼロ・ウェイスト（ごみゼロ）を目指して活動に取り組むところが増えてい

る。最も盛んなところが徳島県上勝町であり、生

ごみは各家庭でほとんど堆肥化、その他のゴミ

も34〜38分別し、住民が町唯一のゴミステーションに自主的に持ち込む

田岡 秀俊 議員

徹底ぶりである。リサイクル（再資源化）率は約80%である。わが町の状況はどうなのか？ごみゼロを目指して取り組み考えはあるか。

答 先進地の活動を研究し検討する（町長）

不燃ごみ、資源ごみは減少傾向だが、可燃ごみはやや増加傾向である。リサイクル率は、現在26.9%である。環境保全や資源保護のため、4R活動を今後二層啓発推進し、住民との協働の取り組みとして、効果的・効率的なごみ処理を検討していく。

中讃広域最終処分場「エコランド林ヶ谷」現在のゴミ埋め立て状況



（住民生活課長）

年間の家庭ごみの総

収集量は約3000t

弱であり、ごみ袋、資源ご

み販売収入を差し引い

ても、年間約1億円（二人

あたり5000円弱）の

経費がかかっている。

大西 豊 議員



・PFI問題

問 大成グループとの契約を見直すべきではないのか

平成23年8月30日満

濃中学校等複合施設事業総額81億5千万円で25年間契約し箱物約35億円建設。4月供用開始直後の授業中3回破損、体育館の壁が無断で9mmから6mmに変更。
議会が破壊検査



破壊検査した壁内部

を要求し実施し、複数の不良箇所が発覚。契約を見直し町主導の管理体制にすべきだ。

答 最善策を
探っていく

(町長)

町に説明がなく、設計変更したという事は契約違反である。このような事態になった原因を究明し、検証を進め、本町にとって最善策を探っていく。

問 個別外部監査の指摘事項を

木造造作工事を町内業者に発注。公的価格調査資料に記載のない項目が多く、大成建設(株)作業所長に対しヒアリングを実施とあるが、今回壁が無断で変更され破損箇所設計図書との整合性を再度外部監査すべきだ。

答 早急に原因を
究明

(町長)

工事管理業務の監査の方法、内容、その結果妥当な監理が行われているとの報告を受けておる。体育館の事象のような事態になった事は適正に実施されていなかったとの疑いは拭いきれず、早急に原因を究明していく。

川西米希子 議員



・胃がん対策

問 「ピロリ菌リスク検査」の導入を

答 町民の要望は高まってくると考えている

問 ピロリ菌が胃がんの大きな原因であることは国も認めている。全国的には既に導入している自治体もあるが、住民の命を守る対策のひとつとして、本町も住民検診に「ピロリ菌リスク検査」の導入をしてはどうか。

今すぐの導入実施は難しいが、「広報まんのう」や健康増進課で実施の健康相談を通じて「ピロリ菌リスク検査」や「ピロリ菌除菌治療」の情報提供に努めていく。

答 (町長)

現在厚生労働省においても「ピロリ菌検査」も含め新しい胃がん検診の方法が研究されている。

本町としても、近隣市町の動向を見ながら「ピロリ菌リスク検査」の導入について検討していきたいと考えている。



病院でピロリ菌検査の説明を受ける患者 (イメージ)

・幼保一体

問 仲南地区の幼保一体化総合保育園の進捗状況は

今回で3回目となるが、地元関係者が待望している仲南地区の幼保一体化総合保育園の進捗を問う。

答 現在、設計の公募の段階である

(町長)

検討委員会の答申を受け、2つの幼稚園を統合し、保育園を併設。

三好 勝利 議員



現在、設計の公募を行っているっており、今回の予算で造成工事費を組んでいる。
少し遅れているが、近隣町に無い立派な園を作りたい。



幼保一体化の長炭保育所

・地元育成を

問 公共工事に対してどのような指導をしているのか

公共工事において、仕事の配分を均等にする事はできないのか。また、下請けへの丸投げは監視

しているのか。

町内業者の育成を最優先としての発注、および、現場の重複はないのか。

答 十分関与し、指導していく

(町長)

一般競争入札、随意契約とともに、事業所所在用件、等級格付けにもとづいて発注している。
丸投げは、手抜きや労働条件の悪化、中間搾取や能力の無い業者がはびこる事にもなりかねない。現下では、一括下請けは無いと思うが、十分関与し指導していく。

町内業者の育成に力を入れていきたい。

・農業に若い力を

問 若者に魅力ある農業に向けて

地域の農業と農村を守るためには、意欲ある青年就農者の確保が重要である。担い手の育成にどう取り組むのか。

現在の農業は、今までよりも効率的にかつ戦略的になっている。

若者たちの要求をもつと把握し、さらにはその要求に合わせ、町としての成長戦略とすべきではないか。

川原 茂行 議員



答 成長戦略の一つとして考えていく

(町長)

青年就農者は、地域において農地プランの中心的な担い手に位置付けられる必要がある。
現在の制度として、今後の国や県の動向、また、農協とも連携して、準備型として就農したい若者に対し5年間150万円の補助で考えていきたい。

金が出ている。しかしながら、5年が経った後に離職する若者が3割ほど存在し、現在の制度としては、若者にとって農業で生活していく事は難しいのかもしれない。



現在の農業の主流である稲作

本屋敷 崇 議員



・町長の姿勢は

問 PFI事件において、町長の姿勢はおかしくないのか

前回、町長自ら「議会、町民に納得できるように対応する。」と言っていたが、納得がいかない。

・壁の破壊検査も議会からの要望である。

・国、県への要望に対し議会と足並みをそろえる気がない。

・壁が壊れた後に、設計図書を大成建設に返している。

・支払い時期に、仕事の精査をせずにお金を払ってしまった。

・契約時に、一人で大成建設に交渉に行っている。

本来、真つ先に怒るべき町長が、おこなうべき行動ではないように考える。

答 全ての議員に納得してもらえないとは思っていない。

(町長)

壁の破壊検査の場を作ったのは私であり、契約時に大成建設に行ったのは、担当者と二人で行った。そのほかに関しても、結果であり努力はしているつもりだが、議員全てに納得してもらえないとは思っていない。



議会に報告せず手直した部分

関 洋三 議員



・教育

問 やり直し工事の生徒への対応

満濃中学校体育館の内壁やり直し工事は大人社会の信頼を損なう事案だが、生徒への影響について今後どのように対応するのか。

答 責任と自律の精神を学ばせる

(教育長)

子ども達には、大人



新体育館内部の様子

施されている。参加率を高める工夫はどのように考えているか。

答 参加者一人につき2000円

(町長)

開催事業費を出席者一人につき2000円として参加率向上に努めるほか、職員にも地域行事には積極的に関わりを持つよう要請している。

・敬老会

問 参加者増加の工夫は

満濃中学校体育館の内壁やり直し工事は大人社会の信頼を損なう事案だが、生徒への影響について今後どのように対応するのか。



敬老会の様子

敬老会が各地区で実



白川 年男 議員

答 議会と協議しながら調査
(町長)
体育館内壁破損につ



壁に穴のあいた新体育館

(町長) 自伐林業は労働力、機械等が必要であり、面積が狭い場合の作業道は、自己所有地だけでは難しく地域での話し合いが必要。取り組みを進めるために、森林組合が中心になり森林整備をお願いしたい。

・中学校問題

問 PFI事業の今後の対応は

・体育館内壁が破損したが、今後、体育館以外については、どの様に点検調査してゆくのか。
・長期にわたり「まんでがんパートナーズ」に維持管理をゆだねることはいかなるものか。

いでは残念に思っており、町に説明なしで設計変更がなされていたことに疑問を持つ。今後、議会と協議しながら調査する。要求水準書どおり業務が実施されていたかどうかについても検証する。契約については調査結果をもとに対処する。

・山林活用

問 自伐林業で地域再生を

限られた山から持続的に収入を得てゆく環境保全型林業が注目されているが、わが町に導入するつもりはないのか。

答 森林組合と協議が必要

・整備計画

問 仲南支所周辺の有効活用を

答 仲南支所周辺整備検討委員会を設置



白川 正樹 議員

問 建物として仲南支所、議し将来支障のないよう、今まで以上に活気、公民館、小学校、武道館、東保育所、そして新しく出来る幼保一体化施設、屋外施設として町民プール、サンスポーツランド、テニスコート、ゲートボール場、駐車場、進入路等、全体的な視野に立つて整備計画を検討する必要があるが、検討委員会は設置しているのか。

答 (町長) 仲南支所周辺の整備計画は、小学校を含め公共施設が隣接している。今後、総合的に計画、協

議し将来支障のないよう、今まで以上に活気、公民館、小学校、武道館、東保育所、そして新しく出来る幼保一体化施設、屋外施設として町民プール、サンスポーツランド、テニスコート、ゲートボール場、駐車場、進入路等、全体的な視野に立つて整備計画を検討する必要があるが、検討委員会は設置しているのか。



検討している仲南支所周辺の様子

「いっぺん来てつが」

議会報告会の開催

ご都合のつく会場に
議会だより第9号を持参してください。

ひざを交えて

前回よりもっと身近な報告会にするために座談会形式に変更しています。

座談会方式ですので、日ごろの議会に対するご意見や町政のことを議員とひざを交えて、話をしませんか。是非、足を運んでください。



前回の報告会の様子

班	議員名	11月 19日(火)	11月 20日(水)
		19時～21時	19時～21時
A	大西 豊	琴南農村環境改善センター	長炭公民館 (なごみ館)
	大岡 克三		
	三好 勝利		
	白川 年男		
	田岡 秀俊		
B	高木 堅	仲南公民館	四条公民館
	藤田 昌大		
	白川 皆男		
	関 洋三		
	川西 米希子		
C	川原 茂行	神野婦人の家	琴南総合センター
	大西 樹		
	本屋 敷 崇		
	白川 正樹		
	合田 正夫		

「先進地に学ぶ」

教育民生常任委員会視察研修報告

日時：8月27日～29日

場所：北海道札幌市・苫前町

目的：「認定子ども園」の先進事例
自主財源確保のための風力発電

認定子ども園「にじいろ」を視察して

認定子ども園にじいろは、「幼稚園」「保育園」「子育て支援」の3つの機能を同一施設で提供していました。

子育てサロンは、常設であるため、利用しやすい、自由に集まって保護者が交流を深めることもでき、子育てに関する悩み等も相談しやすい環

境作りができていると感じました。

また、在園中の園児の保護者の就労状況などの変化により利用形態を変更（幼稚園と保育所間で異動）することができると感じました。

これをもとに、出産、保育、教育の充実も含めた子育て支援策につなげていきたいと思っています。

「風力発電」を視察して

風力発電をおこなうのに必要な条件は、

- ・十分な風力
- ・高圧送電線
- ・十分な道幅
- ・広大な土地

など、風力による発電には厳しい条件があり、現時点ではわが町での風力発電は難しいと感じました。



広大な風力発電の様子

第7回全国水源の里シンポジウム

～上流は下流を思い、下流は上流に感謝する～

日時：9月26日・27日

場所：高知県大豊町（ゆとりすとパークおおとよ、早明浦ダム他）

目的：全国に水源の里（森林環境）の重要性を発信する。

全国179自治体が加盟する全国水源の里協議会主催のシンポジウムが、高知県大豊町で開催され、まんのう町議会も参加しました。

一日目は、強風の吹きすさぶ中、「ゆとりすとパークおおとよ」の野外ステージで全国より約370人が参加しました。



高知県大豊町で開催されたシンポジウム

高知県知事などのあいさつの後、基調講演・シンポジウム、最後に大豊町長の大会アピールで締めくくりました。

二日目は、最新設備で地元産材を製材するおおとよ製材（株）の工場見学、四国の水瓶である早明浦ダム（貯水量約3億1千万トン、満

濃池の約20倍）の内部点検用トンネルほかを視察しました。

全国に水源の里の重要性をアピールし活性化を図る事の大切さとともに、今後のさらなる都市部と山間部の交流・連携の必要性を強く感じました。

伝えることの大切さ

全国広報研修会に参加

日時：9月30日・10月1日

場所：シェーンバッハ・サボー（東京）

目的：議会広報をより読みやすく



1日目の全体広報研修の様子

全国町村議長会主催の広報研修会が開催され、全国から約450人の広報委員が参加しました。

本議会からは、初めて委員5人が参加しました。

一日目は、3人の講師による全体研修があり、文章の伝え方、紙面の作り方、写真の撮り方の研修がありました。

二日目は、3つの分科会に分かれ、各々の議会広報の評価を受けました。

（本町議会だよりの評価）

- ・全体に住民が読みやすい紙面構成になっている。
- ・色使い、写真の使い方、レイアウトが課題。

など具体的に指摘を受けました。

○研修を終えて

「議会だより」は住民と議会を結ぶ最も重要な手段のひとつです。今後も今回の研修で学んだ点、指摘をうけた点などを広報作りに活かし、さらにみなさまに親しまれる「まんのう町議会だより」になるよう努力していきたいと思っています。

空いた公共施設のスペースで 育児ママたちの交流

みなさんもぜひ、
参加してみたいか
がでしょうか。

(左図参照)



ママと作ったよ



楽しいおやつ時間

まんのう町には、0歳から就学前の子どもとその保護者が気楽に参加できる7つの育児サークルが活動しています。

今回取材したのは、仲南支所の2階で、毎週水曜日と金曜日に活動している育児サークル「たけのこ」です。

このサークルは平成16年に、子育てに関し、母親同士が情報交換ができる場所が欲しいと、努力の結果できたそうです。

現在は、15組30人程利用しているそうです。

みんなで楽しく遊びながら、お母さんたちも共通の悩みや情報交換をしています。

お母さんも子どもも楽しそうに活動されていました。

地域で子育てする大切さをあらためて感じました。



みんなで作った作品

サークル名	場 所	日 時	問い合わせ
たけのこ	仲南支所	毎週水・金曜日 10:00~11:30	仲南支所 ☎77-2111
ゆめのたまご	高篠ふれあいセンター	毎月1回(未定)	代表者連絡先 ☎090-7784-1237
読みきかせサークル ブロッサム	満濃農改センター	毎月第1月曜日 10:00~12:00	代表者連絡先 ☎75-4868
すくすく ママの集い	長炭保育所	毎週火・木曜日 10:00~12:00	子育て支援センター ☎79-2099
わんぱくキッズ	琴南保育所	毎月第3水曜日 10:00~12:00 (4・8・11・3月は除く)	琴南保育所 ☎85-2657
子育てサロン	満濃農改センター	毎週水曜日 10:00~14:00	社会福祉協議会 ☎77-2991
子育てサロン	神野婦人の家	毎週金曜日 10:00~14:00	社会福祉協議会 ☎77-2991

今号の表紙

今号の表紙は「力をあわせて」の題名であり、運動会で力いっぱい綱を引く子どもたちの様子です。

今年は、3ヶ所で秋季運動会が開催されました。琴南地区は、保・小・中学校および地域がひとつで行った初の運動会でした。

子ども達の声は、地域の元氣だとおもえる良い運動会でした。また、11Pには仲南保育所、左には、満濃中学校の様子を掲載しました。



力が入る満中運動会のリレー

あとがき

編集委員 川西米希子

議会だより9号が完成しました。お手元に届く頃には、木々の葉も色づき秋も一段と深まっているのではないかと思います。

【議会からこんにちは】シリーズで町民の皆さんの活動と笑顔を紙面に掲載させて頂いています。今回の取材でも子ども達のかわいい笑顔に触れることができました。

皆様のご協力に感謝いたします。



良い広報を目指しての編集会議